

令和2年度 学校関係者評価及び改善策

( 中間 **最終** )

川尻中学校区 校番 19 学校名 川尻中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	○今後の改善策で良いと思います。コロナウイルスで大変ですがよろしくお願ひします。 ○これまでの取組を生かして適切に設定されている。
目標達成のための方策の適切さ	A	○重点項目ごとに適切に設定されている。 ○良いと思います。小学生との交流で一緒にボランティア活動を考えてみてください。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	○良いと思います。 ○結果・課題ともによく分析されている。
今後の改善策(案)の適切さ	A	○良いと思います。よろしくお願ひします。 ○結果分析に対する改善策が細かくに記載されおり、課題解決に取り組んでもらいたい。
その他		○学校の使命である大きな志を持ち、地域に貢献できる人材の育成に尽力してもらいたい。 ○給食配膳時間・食事時間等の確保をよろしくお願ひします。 ○授業参観に参加させていただいたが、子どもたちの日頃の授業態度も確認でき、今後もこのような機会を設けてほしい。 ○小・中学校で取り組んでいる学校評価アンケートでは、保護者の思いがよく分かり、教育活動にも活かされるので継続してほしい。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>今年度最終の学校関係者評価委員会では、コロナ禍における学校の取組について説明するとともに、委員の方々から貴重なご意見を拝聴した。今後も、新型コロナウイルス感染対策を全職員で推進していくとともに、この状況下が継続していくことを想定し、課題を踏まえ改善していきたい。</p> <p>確かな学力については、家庭学習を習慣化させる取組として、生徒の実態に応じて、担任と保護者と連携をとり、個別に指導していきながら課題に取り組みせ、提出を促すようにする。また、毎週月曜日の川中タイムを活性化する。主体的な学びへの授業改善として、4月からの新学習指導要領全面実施を踏まえ、育成する資質・能力を校内で共有し、指導と評価の一体化を目指した校内研修を充実させ、組織的に取り組んでいく。特に、めあての提示、発問の工夫、振り返りを充実させ、「考える授業」づくりを推進していく。</p> <p>豊かな心・健やかな体については、生活規律・学習規律の定着として、4動作の挨拶を委員会や部長会で取組を継続していく。また、生徒自ら進んで掃除が行えるよう、前向きな声かけや肯定的評価をし、自主性が生まれるよう指導していく。夢や目標への挑戦と自尊感情の向上として、職業調べ学習や職場体験学習を発達段階に応じて進めていく。また、ボランティアの機会が減少しているが、校内を中心に継続させていきたい。食育の推進と体力向上として、体力向上に向け生徒会と連携し、休憩時間に器具等の貸し出しを進めて、運動する機会を増やしていく。</p> <p>信頼される学校については、不祥事防止として、計画的な服務規律研修と記者発表等資料による注意喚起を継続して行い、当事者意識と未然防止の意識を職場全体で醸成していく。生徒と向き合う時間の確保として、管理職、分掌間の連携を密にし、焦点化した取組を行う。また、会議等の事前確認や情報共有による組織的な取組による問題の早期解決により、今後も生徒と向き合える時間を確保する。長時間業務の削減として、週1回の定時退校日の徹底を行う。また業務内容を確認し、分掌や学年で分担し合い、時間外勤務時間を減少させる。</p>
--------------------	---